

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

NITS・教職大学院・教育委員会等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	実施機関名・連携機関名 茨城県教育研修センター
	事業名：Online Ed Café (オンライン・エドカフェ)
	研修等名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 Online Ed Café (オンライン・エドカフェ) ～教育の未来を語りあうオンラインカフェ～
	開催日時：令和6年9月9日(月)、10月22日(火)、12月10日(火)、令和7年1月14日(火) (全4回、シリーズ第33回～第36回 14:00～16:30) 開催場所：Zoomを用いたオンライン開催、茨城県教育研修センター (笠間市平町 1410) 参加人数 (延人数) と参加者の属性： (50人) 茨城県内の教職員 42人、学識経験者 8人

目的：

Online EdCafé (オンライン・エドカフェ) は、大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子 氏、国立大学法人熊本大学大学院准教授 苫野 一徳 氏、横浜創英中学・高等学校前校長 工藤 勇一 氏、今治明德学園 FC 今治高等学校里山校学園長 岡田 武史 氏を講師に迎え、講師とメンバーの対話が積み重ねられることで、メンバー自身に「自己の在り方」「考えの枠組み」への気付きが生み出されること、またその対話の様子を YouTube で公開配信することで、自己の経験と結びつけながら視聴する教員にも豊かな気付きが生まれ、県内外の教職員の力量形成を図ることを目的とする。

内容：

大阪市立大空小学校初代校長 木村 泰子 氏を囲み、各回教育に関する異なるテーマを設定し、自由に語り合う対話を行う。対話の様子を聴きながら自らの経験を振り返り、テーマについての考えを深める研修。

全4回中3回はゲストに国立大学法人熊本大学大学院准教授 苫野 一徳 氏、横浜創英中学・高等学校前校長 工藤 勇一 氏、今治明德学園 FC 今治高等学校里山校学園長 岡田 武史 氏を迎えて教育に関する諸テーマについての意見交流をオンラインで行った。1回は、茨城県内の小学校とオンラインでつながり、全教職員とメンバー、木村氏との対話を実施した。

それぞれの対話の様子を YouTube で公開配信した。各回のテーマと参加者、主な内容は以下の通り。

第1回(シリーズ第33回)「みんなが幸せな学校とは」

参加者：木村氏、県内の教員 26人 (参加小学校の教職員 20人を含む)

「子どものため」を問い直し、自分が考える「学校での幸せ」について、参加者の経験をもとに対話した。

第2回(シリーズ第34回)「安心して過ごすとは？」参加者：木村氏、苫野氏、県内の教職員 7人

苫野氏と共に本質観取を通して、「安心して過ごす」ことの本質を明らかにしていった。

第3回(シリーズ第35回)「これからの社会をつくる子どもが育つためにもっとワクワクする学校を考えよう」

参加者：木村氏、工藤氏、岡田氏、県内の教職員 3人

テーマについて、主体性、当事者性を大切にする学校教育、困難を乗り越え成長する子どもに寄り添う大人の在り方という視点で子どもが育つ学校について問い返した。

第4回(シリーズ第36回)「安心して過ごせる学校とは」参加者：木村氏、苫野氏、県内の教職員 6人

第34回の本質観取を受けてどうすれば実現するかについて対話し、経験をもとに子どもへの関わり方について問い返した。

成果：

・対話の様子を録画し、編集を加えて YouTube で公開配信した。再生回数 (2/5 現在) は以下の通り。

第33回 2,304 第34回 2,768 第35回 7,772 第36回 1,321 (1/24 アップロード)

※令和2年度からのシリーズ総再生回数は 22 万回を超えた。

・公開動画への視聴者からの意見

視聴しながら、自分の普段の教育に対する姿勢について振り返っている。子供が安心して過ごすために、目の前の困っている子どもの話を聴いて気持ちを共有し、少しでも心の負担を軽くしていきたいと思った。

エドカフェは、木村泰子さんや苫野一徳さんを交えた対話を自分も一緒に行っている気持ちで聴いている。自分にとって教育の本質やあるべき姿などを考える学び多き時間となっている。

「NITS からの提案（第一次）」との関連における研修担当者としての気付き

- ・対話の様子をアップロードすることにより、研修会等の動画資料として広く活用され、教育に携わる人々の対話を促すことができた。テーマに対して具体的なエピソードを交えて対話することで、教員と講師が自身の経験を振り返り、その意味付けや捉え直しをすることができた。教育観を問い返しながらかつ話する姿に、視聴した教職員から「対話によって心揺さぶられ、自身の経験の意味付けや問い直しにつながる気づきがあった」という意見があり、豊かな気づきが広がっていることを実感した。
- ・対話の中から新たな問いが生まれ、多様な教育課題に対する学びにつながっていった。動画の言葉をきっかけに視聴者にも新たな問いや気づきが生まれたとの意見があり、エドカフェの対話を動画で配信したことは、多くの教職員が自身の教育の在り方を問い直すきっかけとなる豊かな気づきの醸成につながるものであったと感じた。

アイデアや工夫したこと：茨城県内学校の教職員と対話することでより多角的な視点から対話ができるようにした。動画にチャプターを設定することにより内容把握が容易になり、視聴者が自身の関心に応じた対話から気づきを得ることができるようにした。

<p>菅野先生、木村先生</p>	<p>木村先生、工藤先生、岡田先生</p>	<p>教育研修センターweb ページの動画へのリンク</p>
<p>【第 33 回】「みんなが幸せな学校とは」 県内の学校とコラボし、多くの職員と オンライン対話をする様子</p>	<p>【第 34 回】「安心して過ごすとは？」 オンライン対話の様子</p>	<p>【第 35 回】「これからの社会をつくる子どもが育つためにもっとワクワクする学校を考えよう」 オンライン対話の様子</p>
<p>【第 36 回】「安心して過ごせる学校とは」 対話のテーマとオンライン対話の様子</p>	<p>公開動画のチャプター設定</p>	